

科目名	現代社会	科目コード 20080
------------	-------------	----------------

学科名・学年	電気電子工学科 2年	担当教官	鈴木 覚		
単位数	2 単位必修	開講期間	通年	時間数	60 時間
				内訳^(時間)	講義(52), 演習(0) 実験(0), その他(8)
教科書	現代社会(東京学習出版社) <1年次に購入済み> 高等学校現代倫理(清水書院)				
補助教材	プリント				
参考書	授業中に随時指示する。				

A 科目の概要		
<p>・「人間とは何であるか」、「いかに生きるべきか」、「あるべき社会とはいかなるものか」といった問題に対する、古今東西の様々な思想を学ぶ。</p> <p>・諸思想を学ぶなかで、学生自らが、こうした問題に対し、自分なりの視点を獲得できるようにする。</p>		
B 到達目標		
<p>・青年期の特質とその課題について理解を深める。</p> <p>・西洋と東洋、古代と現代など、地理的・歴史的に異なる様々な思想について基本的な理解を得る。</p> <p>・諸思想に存在する共通性から、人間が抱える普遍的な問題について理解を深める。</p> <p>・異質な考えに触れ、自己を相対化し、自己を客観的に捉える眼を養う。</p> <p>・現代の日本でこれから生きていく、ということの意味を自覚する。</p>		
C 長岡高専の学習・教育目標との対応		(A)
D 履修上の注意		
単なる受け身の態度ではなく、積極的な参加態度を望む。そのためにも「自分はどう生きるのか」という根本問題について、常に意識しておいてもらいたい。		
E 評価方法		
定期試験、ノート、授業参加度によって達成目標に対する理解の程度を評価する。 50 点以上を合格点とする。		
F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	人間とは何か	
2	青年期の課題と自己形成	

3	古代ギリシアの思想(1) - 学問の始まりとソクラテス -	
4	古代ギリシアの思想(2) - プラトンとアリストテレス -	
5	一神教の教え(1) - ユダヤ教 -	
6	一神教の教え(2) - キリスト教 -	
7	一神教の教え(3) - イスラーム教 -	
8	試験	
9	仏教	
10	中国の思想(1) - 儒教思想 -	
11	中国の思想(2) - 老荘思想 -	
12	日本の思想(1) - 日本の風土と考え方 -	
13	日本の思想(2) - 仏教の移入 -	
14	日本の思想(3) - 鎌倉仏教の展開 -	
15	試験	
16	近代的主体の形成 - ルネサンスと宗教改革 -	
17	近代科学の方法 - ベーコンとデカルト -	
18	社会と個人との関わり(1) 社会契約説	
19	社会と個人との関わり(2) 功利主義	
20	社会と個人との関わり(3) 社会主義	
21	社会と個人との関わり(4) カントの思想	
22	社会と個人との関わり(5) ヘーゲルの思想	
23	試験	
24	実存主義の思想(1) キルケゴールとニーチェ	
25	実存主義の思想(2) ハイデッガーとサルトル	
26	理性主義への懐疑 - フーコーとフランクフルト学派 -	
27	深層心理学と現代 フロイトとユング	
28	地球環境の危機と倫理	
29	人類の福祉	
30	試験	